

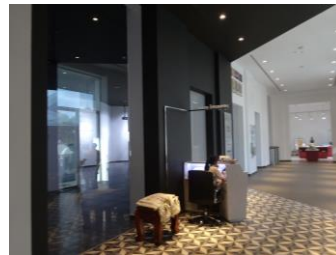
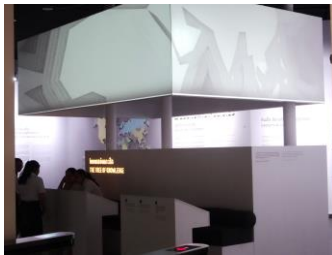
カンボジアをご案内致します！ ★オークンツアー★

カンボジア 現地レター

＜カンボジア経済の歴史を学ぶ！経済通貨博物館のご紹介＞

➤ 自国通貨(リエル)を基盤にしようとしている過程を、過去と現在から学ぶ

プノンペン市内に2019年4月にオープンしたカンボジアのお金の歴史と、経済が学べる博物館「ソーソーロー博物館」のご紹介です。カンボジア経済と通貨について、フナン時代～第二次世界大戦後～現在までの歴史を学ぶことができます。主に、映像(3分程)が各時代毎に英語で紹介されています。(オーディオガイドにて日本語で視聴可能) ※経済や世界史、カンボジアの歴史の知識が多少無いと、理解が難しいかもしれません。



【館内は撮影禁止】表玄関／撮影OKの場所から撮影した館内／エントランスロビー

開館：火曜日～日曜日
(月曜日休館)
時間：9:00～18:00
入場料：外国人5ドル
オーディオガイド：3ドル
※日本語版あり
▶館内は撮影禁止です
▶所要時間：2時間程

今月の ホテル紹介

ザビュー

The View Serviced Residence

プノンペン市内の日本人がオーナーの4つ星ホテル&アパートメントです。

【特徴】①部屋にバスタブがついており、貸切タイプの共同浴場もあり。②屋上のレストランやプールからは市街を一望。③朝食について、和食・洋食の選択が可能。④部屋タイプは、ダブルベッドルームのみの設定。お一人もしくはご家族で滞在するのにおすすめです。立地は、トゥール・スレン虐殺犯罪博物館から徒歩12分の場所にあります。



博物館の設立目的

カンボジアは、90年代前半に国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)が大量のアメリカドルを持ち込み、その為、現在も、自国通貨の「リエル」があまり流通しておりません。カンボジア国民に対して、「自国通貨の信任」と「カンボジア経済を学んでもらう」ために、この博物館を開設しました。

【お楽しみコーナーもあり】館内には、どうやったら偽札か分かるのかなどの機械や、クイズゲーム、自分の顔でお札を造る装置があります。(写真を撮って自分のメールアドレスを入れれば、5秒後に届きます。(無料))



【カンボジア経済に関する参考記事のご紹介】日本経済新聞カンボジア「ドル経済圏」が呼び込む中国マネー(2019.11.25)
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO52560370V21C19A1I00000/>

【12月の気候(参考)】

最高気温 * 約33℃ 最低気温 * 19℃
日出(12/1) * 06:12(AM) 日没(12/1) * 05:36(PM)

【12月の祝日】

12月10日(火) 国際人権の日

【12月の仏日(トゥガイ・セル)】

12月4日(水)、11日(水)、19日(木)、25日(水)

アンコールワットの第三回廊は、仏日は入場ができません
※2020年の仏日は下記WEBサイト↓からご確認ください

